

小鹿野

歌舞伎

埼玉県指定無形民俗文化財
「小鹿野の歌舞伎芝居」



- 《受賞歴》
- ◆平成10年3月
潤いと活力のあるまちづくり
自治大臣表彰受章
(小鹿野町「歌舞伎のまち」(HVAL))
 - ◆平成13年2月
毎日・地方自治大賞奨励賞受賞
(小鹿野町)
 - ◆平成15年3月
伝統文化活性化国民協会表彰
(小鹿野歌舞伎保存会)
 - ◆平成16年10月
地域伝統芸能大賞受賞
(小鹿野歌舞伎保存会)



小鹿野文化センター ☎0494(75)0063
☎368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野167-1
<http://www.town.ogano.lg.jp/>

「小鹿野歌舞伎」の あらまし

小鹿野歌舞伎は、今から約二百数十年前の江戸時代中ごろに始められました。町内には寛政四年(1792)に歌舞伎を上演した記録も残りませんが、文化・文政期(1804~1830)に活躍した初代坂東彦五郎が二座芝居を組織し、その後勇佐座・天王座・大和座と引き継がれ、小鹿野の大和座は長湍の和泉座とともに明治・大正期に当地域の最盛期を作り、秩父地域はもとより群馬県まで興行を行っていました。昭和に入り、高砂座・秩父座・梅松座・新大和座と二座芝居

も大きく変化し、映画・テレビの影響を受け昭和三十年代以降は衰退の時期を迎えました。その後民俗文化財保護の機運が高まり、旧大和座系の役者と町内各地で地芝居を続けてきた人たちが合同して昭和四十八年に小鹿野歌舞伎保存会が結成されました。昭和五十年には埼玉県文化財の指定を受けています。

小鹿野町内では十六・小鹿野・津谷木・奈倉・上飯田の五か所に伝承され、それぞれ地元の神社の祭りに各地の氏子を中心となって歌舞伎を演じています。

当町では昭和四十六年より始まった郷土芸能祭を始め、年六・七日定期的に上演され「町じゅうが役者」

という歌舞伎の町の面影を残しています。町内には、常設舞台が十か所残り、掛け舞台や祭り屋台(山車)に芸座・花道を張り出す舞台もあります。最近では小・中学生による子ども歌舞伎、高校生の歌舞伎、若手歌舞伎、奈倉女歌舞伎の二座も活躍し、衣裳・かつら・大道具などもほぼ自前で、義太夫・下座・化粧・振り付けなどすべて町民でこなし、地芝居のデパートともいわれています。

歌舞伎を町の文化使節として派遣する「地域間文化交流事業」も好評を得てこれまで県内外九十か所で公演しました。歌舞伎を核にしたまちづくりにも活躍し、町の文化イメージアップを図っています。

春夏秋冬益々喝采

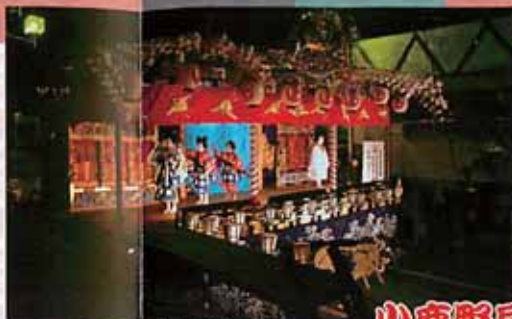
小鹿野歌舞伎の一年を締めくくる舞台は、やはり張出・花道付き屋台で上演されます。三番叟の奉納に始まり、地元氏子・上飯田若連による昼夜三度の歌舞伎熱演は寒さをも忘れさせてくれます。近年は地元三田川中学校生徒の参加もあり、喝采を浴びています。

◎十二月第二日曜日と前日
上飯田歌舞伎 鉄砲祭り・八幡神社



両神・小森歌舞伎 諏訪神社祭り

◎十月第二土曜日
もともと歌舞伎の盛んだった旧両神村。近年「両神歌舞伎保存研究会」と「小森祭り文化を守る会」が発足し、合同で稽古を続け、諏訪神社の祭りに地元有志が熱の入った歌舞伎を奉納しています。



上町屋台

小鹿野屋台歌舞伎

◎四月第三土曜日の前日(小鹿野春祭り)

小鹿野春祭りは、極彩色の彫刻・飾り金具など、豪華に装飾された四基の屋台・笠鉦が町中を曳行される祭りです。祭り初日の夕刻、二基の屋台はそれぞれに張

出し舞台と花道を広げ、小鹿野歌舞伎、若衆歌舞伎、そして子ども歌舞伎が奉納されます。楽屋は近所の商家、街道には敷物が準備され、そのまま見物席となります。



春日町屋台



町内に六か所 歌舞伎の本拠地

□は現存する歌舞伎舞台

小鹿野文化センター
歌舞伎・郷土芸能祭



◎十一月第三日曜日と前日

小鹿野町主催で行われる文化イベント。歌舞伎はもちろん、神楽、獅子舞、八木節、秩父囃子など、町内の三十を超える伝統芸能団体が二日間に渡り熱演を繰り広げます。

津谷本歌舞伎 お天狗様・木魂神社祭り



◎五月三日

下小鹿野津谷木集落のほど近く、小高い山の頂に常設される歌舞伎舞台。神社氏子・若連有志の役者も層が厚く、毎年たくさん訪れる見物客を魅了しています。

小鹿野歌舞伎上演目録

(両神・小森歌舞伎含む)

妙見宮は小鹿野町の北東端、奈倉地内。ここは全国でも珍しい女性だけの歌舞伎一座。妙見様は女性の神様なので女歌舞伎を奉納すれば神様も喜ぶだろうという理由もあるらしい。その堂々たる芝居ぶりが大人気です。

◎十月第一土曜日
奈倉女歌舞伎 妙見宮祭り



十六歌舞伎 日本武神社祭り

◎三月第二土曜日

小鹿野に春を告げる、通称「十六歌舞伎」。地元の十六若連が奉納し、神楽殿兼用の常設舞台上で演じられます。近年は地元長若中学校生徒の参加もあり、喝采を浴びています。

